



小美玉市の

始まっています！ 小中一貫教育

市内全校で小中一貫教育を推進しています

市内には、小学校5校、中学校2校、義務教育学校2校、計9校の学校があります。複雑化する教育課題を解決する取り組みとして、義務教育学校だけでなく、中学校区ごとにそれぞれの特徴を生かして小中一貫教育を推進しています。

各中学校区・義務教育学校では、9年間を通じた系統的な教育を目指し、「グランドデザイン」と「目指す児童生徒像」を作成しました。小中一貫教育を推進することで、「確かな学力」、「豊かな心」、「たくましい体」の育成を目指します。

各学校・学校区のグランドデザインをご覧ください ▶



義務教育学校



玉里学園義務教育学校
小川北義務教育学校

施設隣接型小中一貫教育



小川南中

小川南小

施設分離型小中一貫教育



小川南中学校区

教育目標 **自ら学び 仲間とともに 未来を切り拓く**



笑顔で通う「あたたかい学校」が合い言葉

小川南中学校区では、深く考え主体性のある児童生徒、真心を持ち友情を育む児童生徒、未来を切り拓くたくましい児童生徒の育成を目指し、小中学校の職員がさまざまな場面で情報共有や連携をしています。「笑顔で登校 笑顔で学び 笑顔で帰る『あたたかい学校』」を合い言葉に、南っ子一人ひとりを支えていきます。



小川南小学校
永尾 義江 校長

今年度、これまでに小中合同研修会を3回実施しました。夏休み期間中にはスクールカウンセラーを講師に招いて、9年間を見通した児童生徒理解についての研修を行いました。12月には、中学校教諭による小学6年生への授業を計画しています。

玉里学園義務教育学校

教育目標 **た**たくましく **ま**まごころあふれる **り**りりしい
児童生徒の育成



「夢を現実に」するための取り組み

玉里学園では、4・3・2制による学びの創造と施設一体型校舎を生かした取り組みを行っています。学校教育目標を達成するために、学校キーワードの統一指導、小中一貫した学習指導や外国語授業の充実、小中連携による特別活動の充実、9年間を貫く郷土学習、異学年交流活動などを推進しています。



玉里学園義務教育学校
児童生徒会長 戸田 然さん

写真は、児童生徒会交流委員会が計画した小中合同の縦割り班活動です。他にも昼休みに小学生と一緒に遊んだり、授業で1年生にパソコン操作を教えたりしました。年下の子を思いやる気持ちがわき、小学生には私たちの行動がお手本に。互いにより刺激になっています。

小川北義務教育学校

教育目標 **温かい心で人と関わり、未来を切り拓く**
たくましい児童生徒の育成



義務教育学校の利点を生かして

本校は、目指す児童生徒像を「学び合い磨き合い高め合う児童生徒」「心豊かで一生懸命取り組む児童生徒」「活力がありたくましい児童生徒」の3本の柱で設定しました。義務教育学校というよさを生かし、目標達成のため、前期課程の教科担任制や1年生から9年生までの縦割り班活動などを推進します。



小川北義務教育学校
八木 健 校長

1年生から9年生が合同で体育祭を実施しました。縦割り班綱引き（仲間との絆力を比べる1本の綱）では、9年生がリーダーになってチームをまとめました。力を合わせて学校を盛り上げました。

美野里中学校区

教育目標 **み**自らきたえ **の**のびやかな心で
り理想の学びを求める 美野里の子



知・徳・体の調和のとれた育ちを目指して

美野里中学校区は、4小1中の5校、児童生徒数約1,900名という規模で小中一貫教育を進めています。小中学校の教職員が教育課程や日常の学習指導、生徒指導などを相互に理解し合うことで、9年間の系統性・連続性のある教育を実現し、子どもの知・徳・体の調和のとれた育ちを図っていきます。



美野里中学校
松江 尚斗 教諭

今年度は推進会議を2回開催し、9年間を見通したカリキュラム開発や専門性の高い授業の実現など学習指導の充実のため、小中学校の課題や強みなどを情報交換しました。相互の授業参観も行っています。今後も子どもたちの学力向上に努めていきます。